

第 147 回関東連合産科婦人科学会学術集会
予定プログラム

(2024 年 2 月末時点、今後変更の可能性もございます)

6 月 15 日(土)

教育講演1

「医療技術の進歩と生命の重さについて」

演者: 田中 守(慶應義塾大学)

ワークショップ

「周産期医療と DOHaD」

「妊娠糖尿病で考える DOHaD」

演者: 春日 義史(慶應義塾大学)

「胎児超音波から見えてくる DOHaD の世界」

演者: 池ノ上 学(慶應義塾大学)

若手口演

ランチョンセミナー

スポンサーセミナー

ハンズオンセミナー 腹腔鏡、超音波 (事前登録制)

若手優秀演題賞 発表の宴

6月16日(日)

指導医講習会

「生成 AI 等と医療・教育への関わりと注意点」

演者: 島井 健一郎(メディカルデザイン総合研究所)

教育講演2

「子宮体癌治療ガイドライン 2023 年度版 改定のポイント」

演者: 小林 陽一(杏林大学)

特別講演

「人工胎盤研究の進捗状況」

演者: 齋藤 昌利(東北大学)

関東ブロック産婦人科医会共催シンポジウム(担当:群馬県)

「母体保護法について－母体保護法指定医師研修会－」

優秀演題賞候補、一般演題

ランチョンセミナー

スポンサードセミナー

総会
